

短編演劇アワード
かながわ

2023年3月25日・26日
KAAT 神奈川芸術劇場〈大スタジアム〉

主催 神奈川県 共催 KAAT 神奈川芸術劇場



- [企画] かながわ短編演劇アワード2023企画運営委員会
- [運営] (株)tvkコミュニケーションズ
- [主催] 神奈川県
- [共催] **KAAT** 神奈川芸術劇場

ありあけ **ハーバ**

尚井の胡麻油株式会社

KIRIN

Colette・Mare

SUNSTAR



KAAT
KANAGAWA ARTS THEATRE

演劇コンペティション

公開審査会
3月26日(日) 17:00~

今回より公募5団体全てに、神奈川県立青少年センタースタジオHIKARIにおける上演権を授与!

戯曲コンペティション

公開審査会
3月25日(土) 17:00~

大賞

公開審査会で決定!

- 賞金100万円／トロフィー

観客賞

観客の皆さまの投票で決定!

- 協賛企業による豪華副賞

ご入場時に投票用紙をお配りします。上演5団体のうち、1団体をお選びください。上演終了後にロビーで回収します。3月26日(日)17:00に投票を締切ります。締切時間までに投票してください。※観客賞は、途中入場、途中退場のお客様の投稿は無効とします。

大賞

公開審査会で決定!

- 賞金20万円／トロフィー

3月26日の演劇コンペ、3月25日・26日の公開審査会はインターネット中継を予定しております。詳細はHPへ。



スケジュール・出演

	25 土	26 日
11:00	11:00~ 県立座間総合高等学校演劇部	11:00~ 魔法少女JINDAIS☆
12:00	11:45~ 関田育子	11:50~ 関田育子
13:00	12:40~ 演劇ユニットせのび	12:45~ 演劇ユニットせのび
14:00	13:50~ 白いたんぽぽ	13:55~ 白いたんぽぽ
15:00	14:40~ スペースノットblank	14:45~ スペースノットblank
16:00	15:35~ 老若男女未来学園	15:40~ 老若男女未来学園
17:00		
18:00	戯曲コンペ 公開審査会	演劇コンペ 公開審査会
19:00		

- 演劇コンペティション 審査委員**
伊藤雅子 / 岡田利規 / スズキ拓朗 / 徳永京子 / 矢内原美邦
- 戯曲コンペティション 審査委員**
北川陽子 / 詩森ろば / 杉山至 / 西尾佳織 / 松井周
- 司会** 演劇：伊藤達哉 (ゴーチ・ブラザーズ) 戯曲：植松侑子 (syuz'gen / Explat)
アシスタント (演劇・戯曲)：矢田部ゆか

※ 開場は各開演の30分前。 ※ 上演開始時間は当日の進行具合により変更となる可能性がありますので、ご注意ください。
※ 公開審査会は入場無料です。当日先着順となります。定員に達し次第、入場を締め切らせていただきますので、予めご了承ください。
※ 各審査会直前の公演を観劇された方は、退出せずそのままご覧いただけます。

東京都 | 関田育子

『micro wave』
クリエイションメンバー：久世直樹、黒木小菜美、小久保悠人、下地翔太、関田育子、長田遼、林純也、吉田萌
出演者：久世直樹、黒木小菜美、小久保悠人、長田遼、林純也、吉田萌

マイクロ波とは、電磁波の一種です。電波は空間を伝わる波動なので、目で見ることも触ることもできません。電子レンジはそのマイクロ波を活用して、ものを温めます。今回の上演においても目に見えるものだけでなく、それらの周縁に無限にある見えないもののエネルギーを感じとれるような視座を開拓することを目指しています。



演劇ユニット関田育子として、クリエイションメンバーとともに活動している。俳優の身体と劇場の壁や床が、観客にとって等価に見える『広角レンズの演劇』を提唱し、その実践として演劇作品の創作を行っている。近年の上演作品として、『波旬』(2022年「急な坂ショーケースvol.3」参加演目)、『靈雨』(2022年)、『紙風船』(2020年「演劇人コンクール2020」参加演目)などがある。また、映像作品として『盆石の池』(2021年)がある。

意気込み 今回、大スタジオには舞台背面に大黒幕や左右に黒いパネルが設営されています。そのことは俳優の身体と環境をどのように関係付けるのかを考える際に大きな課題となりました。コンペティションという機会が与えてくれた、この課題に新たな視点をもって挑みたいと思います。

岩手県 | 演劇ユニットせのび

『レーン』
作・演出：村田青葉
出演者：石橋奈那子、狩野瑞樹、菊池佳南、新沼温斗

都会の学校に進学したのに、満身に電車にも乗ることができないままに卒業の年を迎えてしまいましたとさ。その電車に乗っていた、いかにも都会に染まり切っている、その染まり具合がむしろ逆に地方出身って感じがぶんぶんの、ああ、だからあの人も結局自分と変わらないんだらうなあ、ってあの人は、実は同郷の中学校出身で、あ、いやこれ関係ないですね。今、僕は間違った電車に乗っています。まだ、そのことに気が付いていません。





2016年結成。岩手県盛岡市を拠点に活動する演劇ユニット。メンバーは20代を中心に、現在14名が所属。劇場内外での演劇公演のほか、アートフェスイベントの主催なども行っている。「演劇は触媒であり、主役は観客であるという考え」のもと、客席までをひとつの劇場ととらえ、同じ時空間を共有するということを大事に、上演を行う。個人的なエピソード(記憶)をすくいとり、モノログとシーンをコラージュして繋ぎ、温もりと手触り感のある状態の作品を創る。

意気込み 今回上演する『レーン』を含む作品群『スコープ』は、「優しい想像力を培養する場」として、個々人の限定された視界から、外側に広がる世界のことを想像できればいいなという思いで創作に取り組んでいます。皆さんに楽しんでいただけたら幸いです。

大阪府・東京都

白いたんぽぽ

『ひももも』

作：中辻英恵 / 演出：吉武沙織

出演者：小林留奈、吉武沙織、卜部花音

通販で買ったスウェットのズボンの、紐が、異様に長い。
あまりにも下らない事件は、その下らなさ故に、
女の鬱屈した毎日にとどめを刺した。
全てを投げ出して引きこもった女のもとに、職場の先輩が訪ねてくる。
スウェットを穿いたまま先輩を出迎える女。
ウエストから垂れた紐は、床にのたくり、もつれ、絡まり合う...



大阪府・清風南海高校演劇部の卒業生劇団。2021年5月、上京したメンバーを中心に旗揚げし、大阪・東京の2拠点で活動を行う。高校時代から一貫して同演劇部OG中辻英恵の脚本を上演し、緻密かつ繊細な会話劇を得意とする。理想通りに生きられなかった人々が時間の流れの中で諦めてきた、取るに足りない、しかし切実な思いを物語として掘り上げる。

意気込み

小さい場所で公演をしてきた私たちにとって、KAATの大スタジオでの上演は大きな挑戦です。空間の広がりとは対比される個人の心の機微を、コミカルで不条理に、そして繊細に描きます。

東京都

スペースノットブランク

『また会いましょう』

出演者：[出演] 渚まな美、西井裕美 [メタ出演] 近藤千紘

演出：小野彩加、中澤陽



渚まな美



西井裕美

スペースノットブランクにとって常態化し、ツールとして確立されたコミュニケーションや対話という概念。テキストは「共有する」スタイルを保ち生成されている。対話なくしては生まれない言葉の羅列は「特別なもの」のように見えたり、聞こえたりする。舞台には言葉を喋りたいように喋り、それらを喋られたままに再び喋ろうとする二人が居る。二人は同一人物として扱われる。すると「未然の上演」がやってくる。そこで喋られる「未然の言葉」は、社会と通じてしまう可能性を含んでいる。先入観を無価値のままに引き寄せてしまう可能性もある。言葉が発せられているここに表現される環境がまるで社会そのものらしく存在できてしまうような可能性までであると錯覚する。社会と会話の新しいハブとなる場所で「また会いましょう」と触れ合いたい二人の舞台を見る。

二人組の舞台作家である小野彩加と中澤陽が舞台芸術の創作を行なうコレクティブとして2012年に設立。舞台芸術の既存概念に捉われず、独自の新しい仕組みを研究開発しながら舞台芸術の在り方と価値を探究している。固有の環境や関係により生じるコミュニケーションを創作の根源とし、作品ごとに異なるアーティストとのコラボレーションを積極的に行なっている。

意気込み

戯曲を書いて舞台を作るの逆をし続けてきた私たちが、私たちにとって舞台を作り生まれる副産物としての戯曲でしかなかったそれを、戯曲として再定義するための行為を上演したいと考え生まれた舞台です。声を聞いてくださいと聞かせてくださいのどちらもが常にあります。読んでいただきありがとうございます。舞台でまた会いましょう。

東京都・愛知県

老若男女未来学園

『シーユレーター』

作・演出：森悟

出演者：かすがいこと子、七星束子、森悟



かすがいこと子



七星束子



森悟

一人の女優が主演舞台『シーユレーター』の稽古に取り組む数ヶ月の間に、彼女の内部に起こる「別れの捉え方」の変化を描く。周囲の人々と接するなかで、彼女はそれぞれの人々にとっての「別れ」について考えることとなる。「シーユレーター」とは、「別れ」のなかにある「また会える」という事実を強調し、それを永遠の決別と捉えないためのおまじない。これは彼女が「シーユレーター」の意味を知るまでのお話。



演劇を中心とした幅広い芸術分野での活動を画策するクリエイティブ団体。2017年旗揚げ。日常にユーモアをねじ込むスタイルを広く人々に提案し実践してもらうことで、めちゃくちゃおもしろい世の中の実現をめざしている。特に近年の活動では、演劇経験のない異分野のクリエイターを積極的にクリエイションメンバーに招き入れることにより、既存の演劇観に囚われない新たな表現の開拓に注力している。

意気込み

名古屋からこたまで来ました。グランプリを獲ってのぞみで帰ります。こたまよりのぞみの方が速いです。停車駅が少ないので!!

県立座間総合高等学校演劇部

『お前が邪魔で勉強ができない女×女ver』

作：松本隆志 / 演出：喜多川聡、笠井萌衣

出演者：内田朱音、佐藤朱珠

娘が勉強している部屋に突然入ってくる母。
娘は高校3年生で受験生だというのに、あの手この手で勉強の邪魔をしてくる。
そんな娘と母のヘンテコなやりとりをのぞく誰かは壁の向こうに...

座間総合高等学校演劇部は、1年生4人、2年生4人、計8人で活動している明るい部活です。個性豊かな部員たちで和気あいあいと楽しく基礎練や稽古をしています。少人数ですがお客様に楽しんでいただけるよう、日々頑張っています。

意気込み

今回はまだまだ演技として、演劇として荒削りな部分が多く、反省点も沢山ありました。今回はそれを修正し、前回とは一味違ったものをお届けしたいです。

魔法少女JINDAIS☆

(神奈川大学附属高等学校演劇部)

『マジカル人付き合い』

作：目崎剛 / 演出：松本匡祐、加藤理乃

出演者：松本匡祐、旭里彩、杉本侑加、加藤理乃、窪田百夏、柴田七帆、高石郁美、和栗晴子、篠森由里子、澤田小雪、青木冬華、坂上真央

とあるアパートでぐうたらに過ごしていたマホと猫のグー。ただの無職のアラサーに見えるが、実は...マホは魔法使いであった! 新しくアパートに越してきた誠一はマホが魔法を使うところを目撃してしまう。問い詰められ、なんとかその場をしのぐために嘘をついてしまった誠一。その嘘がマホの日常に大きな変化をもたらす...?

魔法少女JINDAIS☆です!!先輩たちが新型コロナウイルスの影響で立つことができなかったKAATの舞台に立つことができ胸がいっぱいです!先輩たちの意思を引き継いで、この日のために、みんなで楽しく劇を作りました!コメディ初挑戦の魔法少女が、爆笑の嵐を巻き起こします!マジカルマジカルみんなの心を惹きつけちゃえ~!!

意気込み

このメンバーで作る最後の舞台なので、みんなで過ごした4年間の全てをぶつけます!

戯曲コンペティション最終候補 作品概要

『ロコモコ・ヤミ・アロハ』 打土井大

会員のウラノとスドウは、ハワイに出張中のカミヤマからのメールを待っている。時には迷い込んだハトを追いかけて回し、時には灼熱の砂漠で遭難しながら。これは世界を旅する現代版不条理演劇!みたいな?

プロフィール

戯曲やシナリオ、エッセイを書いています。
『山田くんは就活中。』が愛知県芸術劇場主催 第20回AAF戯曲賞最終候補にノミネート。

『ナイト・オン・アース (remix)』 中村大地

深夜、用賀から渋谷へ向かうため、タクシーに乗る人。運転手の話に耳を傾けていると、いつの間にか彼の話の世界に引きずりこまれ、なんだかお客さんも増え、相乗りで目指す渋谷。一行ははたして目的地へ辿り着けるのか……。 “もしもジム・ジャームツシュの映画『ナイト・オン・ザ・プラネット』の渋谷編があったら” というアイデアから生まれた短編作品。

プロフィール

1991年生。東北大学文学部卒。在学中に屋根裏ハイツを旗揚げし、8年間仙台を拠点に活動。現在は仙台・横浜・東京を行き来しながら、人が生き抜くために必要な「役立つ演劇」を志向した創作をつづけている。NOOK理事。

『最終バスの住人たち』 近江就成

厚木市に慣れない雪が積もる日。工場の送迎バス運転手・長尾は今夜も従業員を乗せて走る。ベトナム人のダン、新人の若槻、右腕が動かない古河、有田部長を送る最終バスは長尾なりの「最後の福祉施設」であった。道中突然、古河がバスを降りると言う。この雪の山道を降りても当てはない。制止も聞かず「生きているのは楽しいか。どうせろくな暮らしもできないのに何で働いてるのかって思わないのか」と言い捨て、去って行った……。

プロフィール

1997年生まれ。16歳の時から小劇場演劇に触れ始める。2020年京都学生演劇祭で劇団春泥み(はるなずみ)として出場し劇作を始める。第22回(2022年度)AAF戯曲賞・特別賞受賞。

『ユニフォームの中は』 萩谷至史

夜、住宅街の一角。とある買い物代行サービスの配達員が警察から職務質問を受けていた。そこに他の配達員が二人通りかかる。従業員用ユニフォームを一樣に身に纏った三人の配達員には、それぞれ多様な生活や人生観があり、その差異はやがて衝突に繋がっていく。本作品は、多様な人々の共存を妨げる要因の一つである、人間を一樣(uniform)な存在にしようとする新自由主義的な現代社会、およびそれに抗おうとする人間の姿を描く戯曲である。

プロフィール

1989年生まれ。茨城県東海村出身。パフォーマンスのための個人ユニット「mooncuproof」主宰。第16回杉並演劇祭 優秀賞(脚本・演出) / 第6回泉鏡花記念金沢戯曲大賞 審査員奨励賞 / 令和4年度北海道戯曲賞 最終候補作品選出。

『おかえり未来の子』 高谷誉

映画監督志望の長男、勝利が、挫折して東京から東大阪の実家に帰ってくる。宗教団体「S」の活動に励む家族からSの活動に励むよう諫められる中、妹・妙子に同僚でSの会員の朝田と見合いの話があったと聞かされる。休職中の勝利には、Sの会員で朝田、妙子と同僚の加藤が訪ねてくるようになり…。

プロフィール

1995年生まれ。奈良出身。劇団D地区所属・劇作家。
受賞歴：第1回ハイスクールOMS戯曲賞受賞(「山椒魚物語」)。第20回AAF戯曲賞ノミネート(「犀言語」)。

演劇コンペティション審査委員

伊藤雅子

舞台美術家



1973年長野県生まれ、東京造形大学卒業後、舞台美術家松井るみ氏に師事。2003年度文化庁在外研修留学制度研修員として1年オランダに留学。伊藤薫朔賞本賞、読売最優秀スタッフ賞、紀伊國屋演劇賞個人賞など受賞。「審判／失踪者」(松本修演出)「エドワード・ボンドのリア」(白井晃演出)「タンゴ冬の終わりに」(行定勲演出)「プレス・オブ・ライフ」(蓬萊竜太演出)「真田十勇士」(宮田慶子演出)「ジュリアス・シーザー」(森新太郎演出)「黒蜥蜴」(デビッド・ルポー演出)「ザ・ウェルキン」(加藤拓也演出)「温暖化の秋」(山内ケンジ)「ケンジトシ」(栗山民也演出)など。

岡田利規

演劇作家・小説家



©宇壽山貴久子

1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國土戯曲賞を受賞。主宰する演劇カンパニー・チェルフィッチュでは2007年に同作で海外進出を果たして以降、世界90都市以上で上演。ダンサー、ミュージシャン、美術家、ラッパーなど、様々な分野のアーティストとの協働を積極的に行い、現在は作曲家 藤倉大とのコラボレーションによりチェルフィッチュにて新作音楽劇を制作中。近年では欧州の劇場レパートリー作品やオペラ演出を手がけるなど、活動の幅を広げている。2007年にはデビュー小説集を発表し、2022年『プロックリレボリューション』(新潮社)で第35回三島由紀夫賞、第64回熊日文学賞を受賞。

スズキ拓朗

振付家・演出家・ダンサー



©許斐佑

新潟県出身。CHAiROI PLIN 主宰。コンドルズ所属。令和元年度文化庁芸術祭新人賞受賞。紅白歌合戦、FNS 歌謡祭出演ほか、フィリップ・ドゥクフレなど客演。横浜Dance Collection EX 奨励賞、第46回舞踊批評家協会新人賞。第9回日本ダンスフォーラム賞、若手演出家コンクール2013最優秀賞など受賞多数。2016年度から公益財団法人セゾン文化財団ジュニア・フェロー。

徳永京子

演劇ジャーナリスト



東京芸術劇場企画委員および運営委員。せんがわ劇場演劇事業外部アドバイザー。読売演劇大賞選考委員。雑誌やパンフレット、WEB媒体などに寄稿。朝日新聞に劇評執筆。ローソンチケットのサイト『演劇最強論-ing』企画・監修・執筆。著書に『演劇最強論』(藤原ちからと共著)、『我らに光を——さいたまゴールド・シアター 蜷川幸雄と高齢者俳優41人の挑戦』、『「演劇の街」をつかった男 - 本多一夫と下北沢』。

矢内原美邦

振付家・演出家・劇作家



97年にニプロールを結成。05年にはソロ活動ミクニヤナイハラプロジェクトを始動し、劇作・演出を手がけ「前向きタイモン」で第56回岸田國土戯曲賞受賞。14年『桜の園』で鳥鎮演劇祭(中国)に参加し前例のない身体表現と演出が評価され芸術祭評価委員による最高得点を獲得。20年2月東京芸術劇場オペラ『椿姫』演出。01年ランコントレ・コレオグラフィック・アンテルナショナル・ドゥ・セーヌ・サン・ドニ・ナショナル協議員賞受賞、08年日本ダンスフォーラム賞大賞受賞。15年文化庁交流大使。近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻教授。

司会者

伊藤達哉

演劇プロデューサー



1974年千葉県出身。大学在学中に阿佐ヶ谷スパイダースの制作として演劇活動を開始。2004年演劇制作会社ゴーチ・ブラザーズを設立。小劇場での劇団公演、2.5次元ミュージカル、英国人演出家との協同制作など幅広い演劇公演のプロデュースを手掛ける。コロナ禍において業界横断的に結成された緊急事態舞台芸術ネットワークでは事務局長を務める。NPO活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク理事、桜美林大学非常勤講師。

戯曲コンペティション審査委員

北川陽子

劇作家・演出家



快快(FAIFAI)主宰。変化し続けるメディア、アートの最前線にアクセスしつつ演劇をアップデートし、社会性とポップで柔らかなユーモアを併せ持つメッセージで幅広い支持を得る。ホテルのスイートルームでの上演やツアー型演劇など劇場を飛び出したパフォーマンスにも定評がある。

詩森ろば

劇作家・演出家



宮城県仙台市生まれ。1993年劇団風琴工房旗揚げ。以後ほとんどの脚本とすべての演出を担当。2018年よりserial numberとして活動している。全国どこへでも飛び回る綿密な取材で、多彩な題材を他にない視点で立ち上げる。外部作品提供も多数。2016年『残花』(製作 いわてアートサポートセンター)『insider』により紀伊國屋演劇賞個人賞、2020年映画『新聞記者』により日本アカデミー賞優秀脚本賞、2021年『All My Sons』(作 アーサー・ミラー)『コタン虐殺』により読売演劇大賞優秀演出家賞、ほか受賞多数。

杉山至

セノグラファー(舞台美術家)



1966年東京生まれ神奈川育ち。国際基督教大学卒。在学中より劇団青年団に参加。2001年度文化庁芸術家在外研修員としてイタリアにて研修。近年は青年団、俳優座、名取事務所、劇団あはひ、サンプル、デラシネラなど、演劇/ダンス/ミュージカル/オペラ等幅広く舞台美術を手掛ける。舞台美術と地域を考えるワークショップも多数開催。2014年度、第21回読売演劇大賞・最優秀スタッフ賞受賞。2022年度、第30回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞受賞。舞台美術研究工房・六尺堂ディレクター、女子美術大学非常勤講師、NPO法人S.A.I.理事、二級建築士。2021年より芸術文化観光専門職大学(兵庫県豊岡市)准教授。

西尾佳織

劇作家・演出家



©引治信彦

1985年東京都生まれ。幼少期をマレーシアで過ごす。東京大学にて寺山修司を、東京藝術大学大学院にて太田省吾を研究。2007年に鳥公園を結成以降、全作品の脚本・演出を務めてきたが、2020年より3人の演出家を鳥公園のアソシエイトアーティストとして迎え、自身は劇作・主宰業に専念する体制に移行。旧約聖書『ヨブ記』を現代日本に翻案した『ヨブ呼んでるよ』など、既存のテキストや文脈と現在を接続・交差させる創作を行っている。

松井周

劇作家・演出家・俳優



©平岩亨

1972年東京都出身。1996年劇団「青年団」に俳優として入団後、作家・演出家としても活動を開始する。2007年劇団「サンプル」を旗揚げ、青年団から独立。2011年『自慢の息子』で第55回岸田國土戯曲賞を受賞。近作に、『変半身(かわりみ)』(2019年共同原案:村田沙耶香)、彩の国さいたま芸術劇場ジャンル・クロスII 近藤良平×松井周『導かれるように間違えよう』(2022年脚本)、また2023年夏にKAATキッズプログラム『さいごの1つ前』(脚本・演出)の再演、10月に北九州芸術劇場クリエーション・シリーズ「新作(タイトル未定)」が控える。

司会者

植松侑子

アートマネージャー



愛媛県出身。大学在学中より複数のダンス公演に制作アシスタントとして参加。卒業後はダンスカンパニー制作、一般企業での勤務、海外放浪を経て、2008年からフェスティバル/トーキョー制作。2012年からは1年間韓国・ソウルに留学し、帰国後はフリーランスの制作としてさまざまな劇場・組織・劇団と協働。2015年~特定非営利活動法人Explat理事長。2016年~合同会社syuz'gen代表社員。

公開審査会のポイント

① 審査の際に基準とする主な点

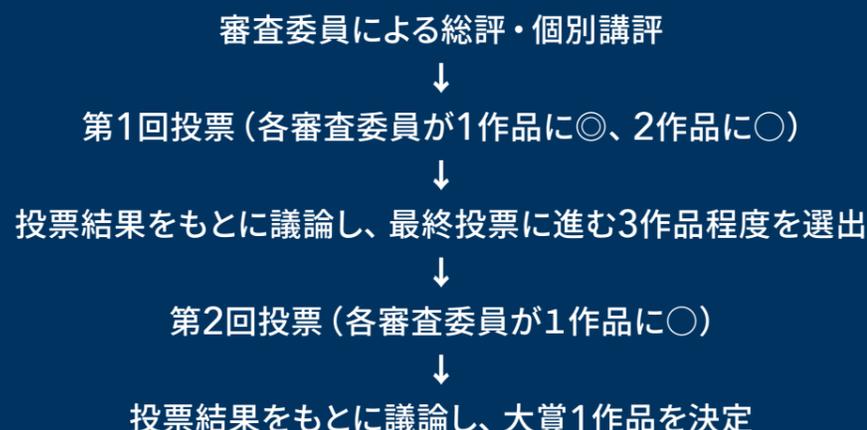
演劇コンペ

- ・ 実験性やオリジナリティが感じられるもの
- ・ これまでの演劇観にとらわれない方向性が感じられるもの
- ・ これからの活躍や発展が感じられるもの

戯曲コンペ

- ・ 募集テーマである「ともに生きる～多様性の時代に生きるということ～」という考え方が感じられるもの
- ・ 社会性や時代性が感じられるもの
- ・ 表現に独自性が感じられるもの
- ・ これからの活躍や発展が感じられるもの

② 審査会の流れ(演劇・戯曲共通)



③ 演劇コンペの上演レギュレーション

- ・ 20分～40分の作品であること。
※各団体の上演時間を記録し、審査委員に報告します。
- ・ 他団体との転換を規定の時間内(仕込み10分、バラシ5分)で終わらせること。
※時間内で転換するのは置き道具・舞台美術等。
舞台機構に関する部分は規定時間に含まれません。
※3月24日のゲネプロにおいて転換時間を計測し、各団体が転換を規定の時間で終わらせることを確認しています。

公募結果

演劇コンペティション 出演団体公募(全33団体 出演5団体)

演劇ユニットせのび
白いたんぼぼ
スペースノットブランク
関田育子
老若男女未来学園

※五十音順

戯曲コンペティション 作品公募(全98作品 候補5作品)

『ロコモコ・ヤミ・アロハ』	打土井大
『最終バスの住人たち』	近江就成
『おかえり未来の子』	高谷誉
『ナイト・オン・アース(remix)』	中村大地
『ユニフォームの中は』	萩谷至史

※作者五十音順

22世紀飛翔枠選抜大会※(全5団体 出演2団体)

県立座間総合高等学校演劇部
魔法少女JINDAIS☆(神奈川大学附属高等学校演劇部)

※五十音順

※神奈川県内の高校生を対象とした短編演劇の大会で、選抜された団体が演劇コンペティションへの出場権を得られます(公開審査会の対象には含まれません)。

審査委員

演劇コンペティション 最終審査委員：伊藤雅子／岡田利規／スズキ拓朗／徳永京子／矢内原美邦
一次審査員：楫屋一之／鈴木収／半澤裕彦

戯曲コンペティション 最終審査委員：北川陽子／詩森ろば／杉山至／西尾佳織／松井周
二次審査員：大竹竜平／オノマリコ／本橋龍
一次審査員：大蔵麻月／黒澤たける／寺垣沙織／半澤裕彦

22世紀飛翔枠選抜大会 楫屋一之／桐山知也／山田由梨

※五十音順